

じゅしゅう

八月十五日は当山の「盂蘭盆会並びに門信徒総追悼法要」でした。本来であれば皆さまにご参拝をいただいて、同じ空間を共有しながら、おつとめをさせていただきたかったのですが、大阪府に「医療非常事態宣言」が発出されることにも、高齢者へ不要不急の外出を控えるよう、知事からのメッセージが出たことにより、残念ですが午後二時からの法要は中止とさせていただきますました。その代わりというわけではありませんが、午前中の時間を使ってオンライン生配信の法要を準備しておりました。事前に機材を準備してリハーサルも

浄覚寺 盂蘭盆会 門信徒総追悼法要

おこない、当日は息子にも手伝ってもらいながらの配信法要です。下段の写真にもありますように、誰も参拝しておられないにもかかわらず、初めての経験で異様な緊張感ではありましたが、無事につとめることができました。また、今回のご法要は、盂蘭盆会と併せて門信徒総追悼法要も併修しました。できるだけ身近な法要と感じていただけるように、お申し込みいただいた故人のご法名を読み上げさせていただきますました。さて、ご法要では重誓偈律曲という珍しい旋律のおつとめをした後に、カメラに向かつてではありましたが短いご法話もさせていただきますました。お盆なのでご先祖さまをご縁として手を合わせさせていただきます。私たちがご先祖さまに何ができるかと考えることでしょうか。決して悪いこととは思いません。けれど、それだけに留まらず、実はご先祖さまから何を願われているかを訪ねていく時間であると思います。ご先祖さまは私たちの幸せを願うと同時に、いのちの有り様も知らせようとしてくださいます。私のいのちはお浄土に、必ず仏さまのいのちとなって生まれていくのだよ。死んで終わりではなく、生まれて往くいのちなのだ、そのようにいのちの意味を知らされているのです。なお、生配信でお届けしましたこの度の法要ですが、

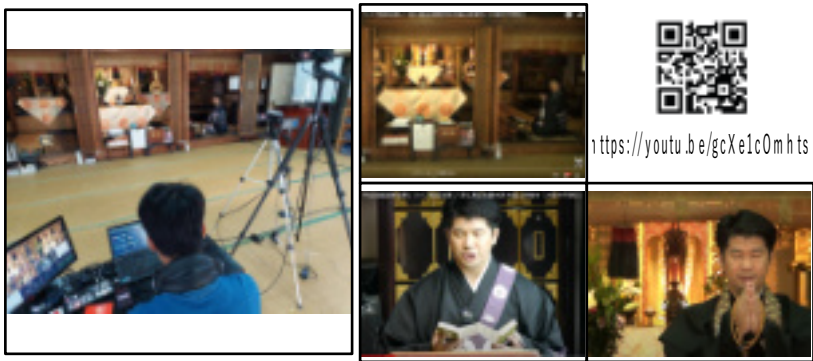
第41号
(通算381号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・9月21日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆皆さま、お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。



<https://youtu.be/gcXe1c0mhts>

左記のRコードかURLアドレスにアクセスしていただくことで、いつでも視聴することが出来ます。ご家族に皆さまにお伝えをいただながら、ぜひご覧いただければと思います。

前に生まれんものは

後を導き

後に生まれんひとは

前を訪へ

『教行信証化身土巻』



御文章に聞く(第36回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

末代無知章(五帖第一通)
 末代無知の・在家止住の男女たらんともがらは、こころをひとつにして・阿弥陀仏をふかたのみまいらせて、さらに余のかたへこころをふらず・一心一向に仏たすけたまえと申さん衆生をば、たとい罪業は深重なりとも・かならず弥陀如来はすくいましますべし、これすなわち・第十八の・念仏往生の誓願のこころなり、かくのごとく決定してのうえには・ねてもさめてもいのちのあらんかぎりは、称名念仏すべきものなり、あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。前回までは「信心獲得章」でありま

上野大仏

東京・上野にある顔だけの大仏。かつては全身があり、約6mもの大きさだったが、関東大震災で大破したまま再建できず、寛永寺が保管することとなった。そして、戦時中の昭和十五年には顔以外の部分を軍専用の金属として供出することとなり、いったん大仏としての役割は消滅する。

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

したが、今月からは「末代無智章」に移っていきましょうと思います。まずは大意をお読みください。
 「末代といわれる末法の時代にあつて、智慧もなく、在家の生活をおくる人びとは、専ら阿弥陀仏をふかたのみたてまつるべきであります。そして阿弥陀仏以外の仏さまや菩薩がたにこころを向けることなく、また神々にこころを向けず、ひたすらに阿弥陀仏の本願の仰せにしたがい、仰せのままに「おたすけください」とおまかせするならば、どれほど罪業が深い人であっても、阿弥陀仏は必ずすくってくださいます。これが第十八願の念仏往生の誓願のこころであります。このように本願の信心を決定したからには、ねてもさめても、いのちのあらんかぎり…、お念仏を申すべきであります。」

編集後記

今月も「じゅごう」をお届け致します。
 以前からできることはわかっていましたが、法要は同じ空間にすることで、その宗教的雰囲気から伝わるものがあるのだと考えておりましたから、画面越しに参拝するなんてあり得ない、そう思っておりました。法要のオンライン生配信のことで、けれど、参拝のご案内ができないのであれば、何もしないよりも少しでも何か動くべきと考えが変りました。不十分ではありますが、ぜひご視聴いただければと思います。彼岸会からは通常通り開催できるのではないかと期待しております。(釋法道)

しかし、昭和四十七年に寛永寺に保管されていた顔をレリーフとして安置することになり、復活を果たした。現在は「これ以上落さない」ということで、合格祈願のスポットとなっている。

行事案内

日時・九月二十三日(祝) 十四時より
 行事・秋季彼岸会
 場所・長原浄覚寺
 法話・赤井智頭先生(兵庫)
 (なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)



十月十五日(土) 十四時・十九時
 永代経法要 法話 義本弘導先生